

## 河田潤一教授略歴

- 昭和23年 9月15日 神戸市に出生
- 昭和46年 3月31日 関西学院大学法学部政治学科卒業
- 昭和48年 3月31日 神戸大学大学院法学研究科公法専攻修士課程修了
- 昭和51年 3月31日 神戸大学大学院法学研究科公法専攻博士課程後期課程単位修得退学
- 昭和51年 4月1日 甲南大学法学部講師
- 昭和53年 4月1日 甲南大学法学部助教授
- 昭和53年 8月 米国ウィスコンシン大学政治学部 Honorary Fellow  
(昭和54年 7月まで)
- 昭和54年 8月 米国イェール大学政治学部 Visiting Fellow (昭和55年 6月まで)
- 昭和55年 6月 米国スタンフォード大学教育大学院 Guest Scholar  
(昭和55年 9月まで)
- 昭和59年 4月1日 甲南大学法学部教授
- 昭和59年 4月 英国エセックス大学政治学部 Visiting Fellow (昭和59年 9月まで)
- 昭和59年 6月 欧州大学院大学 Visiting Fellow (昭和59年 7月まで)
- 平成 2年 4月 米国ハーバード大学教育大学院 Visiting Scholar 及びマサチューセッツ工科大学政治学部 Visiting Scholar  
(平成 2年 9月まで)
- 平成 5年 4月1日 甲南学園国際交流センター長 (平成 7年 3月31日まで)
- 平成10年 4月1日 大阪大学法学部教授
- 平成10年 6月 日本比較政治学会理事 (平成16年 6月まで)
- 平成10年10月 日本政治学会理事 (平成12年 9月まで)

- 平成11年4月1日 大阪大学大学院法学研究科教授
- 平成12年8月 日本学術振興会特別研究員等審査会専門委員（平成14年7月まで）
- 平成14年10月 日本政治学会理事（平成22年9月まで）
- 平成16年3月1日 米国カリフォルニア大学サンタクルス校政治学部 Visiting Scholar 及びカリフォルニア大学バークレー校アフリカ系アメリカ研究学部 Visiting Scholar（平成16年3月31日まで）
- 平成16年4月 大阪大学財務・会計室員（平成18年3月まで）
- 平成16年7月 日本比較政治学会会長（平成18年7月まで）
- 平成17年1月 日本学術振興会平成17年度科学研究委員会専門委員（平成17年12月まで）
- 平成18年1月 日本学術振興会平成18年度科学研究委員会専門委員（平成18年12月まで）
- 平成18年3月 日本学術会議（第20期）連携会員（平成20年9月まで）
- 平成18年4月 日本政治学会平成18年度文献委員会委員長（平成19年3月まで）
- 平成19年4月 日本政治学会平成19年度年報（第2号）委員会委員長（平成20年3月まで）
- 平成20年10月 日本学術会議（第21期）連携会員（平成23年6月まで）
- 平成20年11月 日本学術会議（第21期）政治学委員会「政治学展望分科会」委員長（平成21年10月まで）
- 平成22年3月 日本政治社会学会理事（平成25年3月まで）
- 平成23年4月 日本学術会議東日本大震災対策委員会「被災地域の復興グラウンド・デザイン分科会」委員（平成23年9月まで）

平成23年 6 月	日本学術会議（第21期）会員（第1部）（平成23年9月まで）
平成23年10月	日本学術会議（第22期）会員（第1部）（平成26年9月まで）
平成23年10月	日本学術会議政治学委員会委員（現在に至る）
平成23年10月	日本学術会議政治学委員会「比較政治分科会」委員長（平成29年9月まで）
平成23年10月	日本学術会議科学と社会委員会「科学力増進分科会」委員（平成26年9月まで）
平成25年 3 月31日	大阪大学定年退職
平成25年 4 月 1 日	大阪大学名誉教授
平成25年 4 月 1 日	神戸学院大学法学部教授
平成25年 4 月	日本学術会議政治学委員会「政治学分野の参照基準検討分科会」委員（平成26年9月まで）
平成25年 4 月	日本政治社会学会顧問（現在に至る）
平成26年10月	日本学術会議（第23期）会員（第1部）（平成29年9月まで）
平成29年10月	日本学術会議（第24期）会員（第1部）（平成30年9月定年退職）
平成30年 6 月	日本政治法律学会顧問（現在に至る）
平成30年 9 月	日本学術会議（第24期）連携会員（第1部）（現在に至る）
平成31年 3 月31日	神戸学院大学定年退職

河田潤一教授主要著作目録

I 著書

『比較政治の分析枠組』（共編著）	ミネルヴァ書房	1986年
『比較政治と政治文化』（単著）	ミネルヴァ書房	1989年
『現代政治学入門』（編著）	ミネルヴァ書房	1992年
『政党派閥』（共編著）	ミネルヴァ書房	1996年
Political Psychology in Japan（共著）	Nova Science	1999年
『ハンドブック政治心理学』（共編著）	北樹出版	2003年
『日本政治』（共著）	大阪大学出版会	2005年
Comparing Political Corruption and Clientelism（編著）	Ashgate	2006年
『排除と包摂の政治学——越境，アイデンティティ， そして希望（年報政治学2007Ⅱ）』（編著）	木鐸社	2007年
『汚職・腐敗・クライエンテリズムの政治学』（共編著）	ミネルヴァ書房	2008年
『政治学基本講義』（単著）	法律文化社	2015年
『社会資本の政治学』（単著）	法律文化社	2017年

II 論説

「政治的社会化と媒体」	六甲台論集21巻1号	1974年
「Working Class Tories をめぐる諸問題（1）」	六甲台論集21巻4号	1975年
「Working Class Tories をめぐる諸問題（2）」	六甲台論集22巻1号	1975年
「『ワーキング・クラス・トーリーズ』についての一考察」	甲南法学17巻1号	1977年

「イギリス政治文化に関する一考察——『デファレンス』」	甲南法学18巻3・4号	1978年
「現代フランスにおける政治的社会化に関する一考察」	甲南法学22巻1-4号	1982年
「恩顧主義に関する一考察」	甲南法学24巻1号	1983年
「A Preliminary Work for Comparative Political Clientelism」	甲南法学25巻1号	1984年
「エセックス大学イギリス選挙研究」	甲南法学26巻1号	1985年
「The Child's Discovery and Development of 'Political World': A Note on the United States」	甲南法学26巻2・3号	1986年
「政治的クライエントリズム」	『比較政治の分析枠組』	1986年
「社会的クリーヴィッジと政党システムの変化」	『比較政治の分析枠組』	1986年
「エドウィン・L・ゴドキンとニューヨーク『ネイション』」	甲南法学28巻1号	1987年
「Political Socialization in Contemporary Japan」	International Political Science Review Vol. 8・No. 3.	1987年
「政治学を学ぶために」	『現代政治学入門』	1992年
「権力の政治学——政治権力と権力の癒着」	『現代政治学入門』	1992年
「市民の政治学——政治参加とデモクラシー」	『現代政治学入門』	1992年
「利権の政治学——政党政治と政治腐敗」	『現代政治学入門』	1992年
「ハワイにおける観光業の展開と行方」	甲南法学32巻3・4号	1992年
「政党派閥とクライエントリズム」	『政党派閥』	1996年

- 「テレビ政治のアメリカ的展開——『アメリカ・モデル』の  
普遍性と限界」 甲南法学38巻3・4号 1998年
- 「『公的争点分析アプローチ』と市民教育——ハーバード  
社会科プロジェクトをめぐる」 姫路法学25・26号 1999年
- 「Socialization for Citizenship: Civic Education and  
Political Attitudes in Japan」 Political Psychology in Japan 1999年
- 「Heurs et malheurs du clientélisme: Étude comparée  
de l'Italie et du Japon」(Mario Caciagli との共同執筆)  
Revue Française de Science Politique Vol. 51・No. 4. 2001年
- 「政治学教育の意義と方法」『21世紀の法と政治  
(大阪大学法学部創立50周年記念論文集)』 2002年
- 「アメリカ都市部における学校改革の政治学——『市民能力と  
都市教育プロジェクト』の紹介を中心として」  
阪大法学52巻3・4号 2002年
- 「Social Responsibility of Business Enterprises: A Political View」  
「企業・経営の社会的責任」に関する学際的研究  
(甲南大学総合研究所編) 2003年
- 「政治的社会化」  
『ハンドブック政治心理学』 2003年
- 「マフィア・暴力的腐敗・非市民性」 阪大法学53巻3・4号 2003年
- 「戦後民主主義と市民社会——『55年体制』の軌跡と  
『市民』をめぐる政治」 『日本政治』 2005年
- 「<ブラック・エンパワーメント>小論」  
阪大法学55巻3・4号 2005年
- 「Mafia, Corrupted Violence and Incivism」  
Comparing Political Corruption and Clientelism 2006年
- 「マフィア・暴力的腐敗・非市民性——戦後シチリアの  
経験を中心にして」

- 『汚職・腐敗・クライエンテリズムの政治学』 2008年
- 「社会資本，信頼と民主主義」 阪大法学59巻3・4号 2009年
- 「Social Capital, Trust, and Democracy: Asia in Comparative Perspectives」
- 研究双書（関西大学経済・政治研究所） 2010年
- 「コミュニティ関与と学校改革の政治学  
——戦後アメリカにおける二つの事例紹介を中心として」
- 甲南法学50巻4号 2010年
- 「The End of Liberal Democratic Party-led Politics?:  
From the Point of View of Political Clientelism and Corruption」
- Osaka University Law Review No.58. 2010年
- 「Interview with Philippe C. Schmitter:  
A Titan of Comparative Politics」 甲南法学51巻3・4号 2011年
- 「市民教育の政治学——アメリカ合衆国を中心として」
- 阪大法学61巻1号 2011年
- 「グローバリゼーションの影響下で市民社会を賦活する」
- 国際高等研究所報告書1001号 2011年
- 「産業地域事業団（IAF）のプログレッシブ・ポリティックス  
——アメリカにおける草の根民主主義の実践に向けて」
- 阪大法学60巻3・4号 2011年
- 「政治のことば」 日本語学31巻4号 2012年
- 「震災復興・減災の政治社会学  
——『社会資本（social capital）』論から考える」
- 阪大法学62巻3・4号 2012年
- 「The Meta-Language of Politics, Culture and Integrity in Japan」
- Human Affairs Vol.23・No.2. 2013年
- 「社会資本（social capital）について考える」
- 学術の動向18巻5号 2013年

- 「アドボカシー——アメリカ政治の一断面」  
現代の図書館51巻3号 2013年
- 「ソーシャル・キャピタル」  
『ソーシャル・キャピタル』（ミネルヴァ書房） 2015年
- 「産業地域事業団（IAF）の思想と行動  
——アリンスキーとそれ以後」 神戸学院法学47巻2・3号 2018年
- 「社会基盤を編み直す——IAF（産業地域事業団）の思想と  
行動を中心に」 日本政治法律研究1号 2019年
- 『「学びの共同体」としてのコミュニティ組織化  
——テキサス産業事業団（IAF）を中心として」  
神戸学院法学48巻2・3号 2020年

### III 翻訳・書評・事典執筆等

- 「P・A・アラム『戦後ナポリの政治と社会』（書評）  
六甲台論集22巻2号 1975年
- 「J・ペトラス，H・セメルマン・メリノ『反乱する農民  
——チリに関する一つの事例研究，1965-1971』（書評）  
六甲台論集22巻4号 1976年
- 「R・D・パトナム『政治家の信条構造——イギリスとイタリア  
におけるイデオロギー・紛争・民主主義』（書評）  
甲南法学17巻4号 1977年
- 「ルイジ・グラティアーノ『「恩顧主義（Clientelism）研究の  
概念枠組』（翻訳） 甲南法学18巻3・4号 1978年
- 「フィリップ・C・シュミター『いまだにコーポラティズムの  
世紀なのか』（翻訳） 甲南法学23巻1号 1982年
- 「チャールズ・P・ヘンリー『アメリカ黒人の文化と政治』（翻訳）  
明石書店 1993年
- 「ジェイムズ・ジェニングス『ブラック・エンパワーメントの



政治』(翻訳)	ミネルヴァ書房	1998年
「中野実『宗教と政治』(書評)	週刊東洋経済7月25日号	1998年
「オランダの官僚機構」(事典執筆)	『政治学事典』(弘文堂)	2000年
「オランダの議会」(事典執筆)	『政治学事典』(弘文堂)	2000年
「オランダの政治」(事典執筆)	『政治学事典』(弘文堂)	2000年
「オランダの政党」(事典執筆)	『政治学事典』(弘文堂)	2000年
「オランダの選挙」(事典執筆)	『政治学事典』(弘文堂)	2000年
「オランダの地方自治」(事典執筆)	『政治学事典』(弘文堂)	2000年
「ロバート・パットナム『哲学する民主主義』(翻訳)		
	N T T出版	2001年
「スーザン・ローズ=アッカーマン『政治汚職・腐敗と民主主義』(翻訳)	阪大法学53巻1号	2003年
「ドナテッラ・デッラ・ポルタ, アルベルト・ヴァヌッチ『盗賊支配』(翻訳)	阪大法学53巻2号	2003年
「デイヴィッド・O・シアーズ, P・J・ヘンリー『象徴的人種主義』(翻訳)	『ハンドブック政治心理学』	2003年
「ヴァージニア・サピロ『ジェンダーと政治心理学』(翻訳)	『ハンドブック政治心理学』	2003年
「ロバート・D・パットナム『社会資本と公的生活』(翻訳)	『ハンドブック政治心理学』	2003年
「クリスティン・R・モンロー『合理的選択と「パースペクティブ」理論』(翻訳)	『ハンドブック政治心理学』	2003年
「ロバート・E・レーン『何のための政治心理学か』(翻訳)	『ハンドブック政治心理学』	2003年
「デヴィッド・G・ウィンター『政治心理学の未来——新たな学問基盤と学際的方法』(翻訳)	『ハンドブック政治心理学』	2003年

- 「ゲア・ルンデスタッド『ヨーロッパの統合と  
アメリカの戦略』」（翻訳） N T T 出版 2005年
- 「猪口孝『「国民」意識とグローバリズム』」（書評）  
レヴァイアサン37号 2005年
- 「シーダ・スコッチポル『失われた民主主義  
——メンバーシップからマネージメントへ』」（翻訳）  
慶應義塾大学出版会 2007年
- 「小林良彰・岡田陽介・鷺田任邦・金兌希『代議制民主主義の  
比較研究』」（書評） 選挙研究30巻2号 2014年
- 「特集：高等学校新設科目『公共』に向けて  
——政治学の立場から」（表紙の画）  
学術の動向22巻1号 2017年
- 「特集：高等学校新設科目『公共』に向けて  
——政治学の立場から」（趣旨説明）  
学術の動向22巻1号 2017年

#### IV 学会報告・座談会・講演会

- 「現代アメリカにおける政治的社会的の一断面」（報告）  
日本政治学会 1982年
- 「A Preliminary Work for Comparative Political Clientelism」  
（比較欧州政治6回夏期セミナー報告）  
欧州大学院大学 1984年
- 「クライエンテリズムの政治文化的背景」（報告）  
日本政治学会 1986年
- 「法になにができるか——法の現在と未来」（座談会）  
法学セミナー35巻4号 1990年
- 「メディア政治のアメリカ的展開とアメリカ・モデルの限界」  
（第15回アメリカ研究札幌クールセミナー報告）

	北海道大学	1994年
「Clientelism and Corruption」(比較政治プロジェクト 「政治変動の研究——日本・イタリア比較」報告)		
	フランス国際調査研究センター	1998年
「テレビと政治」(講演) 日本監査役協会関西支部		
「政局の行方と日本型政治の特質」(講演)		
	芦屋川カレッジ	1999年
「アメリカ政治文化寸描」(報告) 関西政治史研究会		
「伝統と改革の市民的構造——Terza Italia から長野へ」(講演)		
	芦屋市立公民館講座	2002年
『「政治と言語」研究のための備忘録」(報告)		
	「政治と言語」研究会	2003年
「政治学とは何か, 政治学をどう教えるか」(報告)		
	日本政治学会	2004年
「変貌する有権者をどうとらえるか」(講演)		
	市区町村明るい選挙推進協議会組織・活性化研究会	2005年
「メンバーシップからシンボリック・アナリストへ」 (研究プロジェクト「グローバリゼーションと市民社会」報告)		
	国際高等研究所	2007年
「社会資本 (social capital) と民主主義」(講演)		
	大阪大学中之島講座	2007年
「社会資本・信頼と民主主義」(報告) 日本政治学会		
「政治学の展望」(報告) 日本学術会議第1部 夏季部会		
「日本再生の行方は——09年総選挙を踏まえて」(講演)		
	神戸新聞マーケティングフォーラム	2009年
「エンパワーメント論の切り出し方」(報告)		
	関西大学政治・経済研究所	2009年
「グローバリゼーションのなかで市民社会を賦活する」		

(研究プロジェクト「グローバリゼーションと市民社会」報告)	国際高等研究所	2010年
「ジェイン・ジェイコブズ『アメリカ大都市の死と生』 周辺」(講演)	大阪大学中之島講座	2010年
「日本の政治状況について——政治学的考察」(講演)	神戸専門家フォーラム	2012年
「震災復興・減災の政治社会学——『社会資本 (social capital)』論 から考える」(報告)	日本政治学会	2012年

## V その他

「学会報告：現代アメリカにおける政治的社会化の一断面」 (日本政治学会編『年報政治学』)	岩波書店	1983年
「『五目飯』の毎日です」	『甲窓』27号	1985年
「学会報告：クライエンテリズムの政治文化的背景」 (日本政治学会編『年報政治学』)	岩波書店	1987年
「International Sense とは何か」 甲南学園国際交流センター NEWS LETTER 1号		1993年
「学界展望：1993年政治学・政治理論」 (日本政治学会編『年報政治学』)	岩波書店	1994年
「センター・オブ・エクセレンスを目指す」 日本私立大学連盟『大学時報』43巻		1994年
「最後の総督——このまま忘れ去られるのか？」 週刊アスキー創刊号		1997年
「すべては政治的行為のもとで生まれてきたものである」 HANDIAI WALKER 50号		2001年
「Summary of Discussion of Workshop Two, Section I: Social Science」	Proceedings of the Kyoto Summer Seminar July 25-July 27, 2002.	2003年